

# 記者発表（配付）資料

令和5年11月1日

所属部課	局長	課長	課長補佐	担当	連絡先
萩市教育委員会事務局 文化・生涯学習課内 萩ふるさとまつり「のど自慢大会」事務局	植村 正	小野 彰彦	大平 展子	中村 后咲 江山 豊	(0838) 25-3511

件名	令和5年度 萩ふるさとまつり「のど自慢大会」開催について
----	------------------------------

「のど自慢大会」は、萩ふるさとまつりの恒例行事として開催しており、今回で17回目を迎えます。今年も、多くの皆さんにご参加いただき開催しますので、下記のとおりお知らせします。

## 記

- 開催日時** 令和5年11月11日（土）午後2時～5時20分  
【予定】ジュニアの部 午後2時5分～2時55分  
一般の部 午後2時55分～5時20分  
※進捗状況によって予定時刻が前後する場合がございます。
- 会場** 萩市民館 大ホール（入場無料）
- 出演者** ジュニアの部 6組（8人）、一般の部 27組（27人）
- 審査員** 【ジュニアの部】  
池田廣司（萩市教育長）  
杉ひろ子（市民団体「萩発愛のメッセージ」代表）  
草野隆司（歌う樹木医）  
【一般の部】  
田中文夫（萩市長）  
杉ひろ子（市民団体「萩発愛のメッセージ」代表）  
草野隆司（歌う樹木医）
- ゲスト** 【ジュニアの部】 秋山紗希（萩・魅力PR大使、萩西中学校2年）  
【一般の部】 昨年度優勝 岡崎敦子 1曲  
キングレコード 山崎たけし 2曲  
キングレコード 川島とし子 3曲

# 記者発表(配布)資料

令和5年11月1日

所属課	課長	課長補佐	主任	担当	連絡先
萩市消防本部予防課	山根 進	藏貫 豪	小田 和嗣	阿武 均	0838-25-2798

件名	～ 火を消して 不安を消して つなぐ未来 ～ 令和5年秋季全国火災予防運動 幼年消防防火パレードの開催について
----	--

秋季全国火災予防運動が11月9日(木)から11月15日(水)の7日間、全国一斉に実施されます。萩市消防本部では、下記のとおり市民に対し広く火災予防を呼びかけるとともに、防火思想の普及啓発を図る行事を行います。

## 記

### ○ 行事内容

#### 幼年消防クラブによる防火パレード

- ① 日 時 令和5年11月12日(日) 午前10時40分～午前11時30分
- ② 順 路 南崎歯科前から金谷天満宮前まで(別紙順路参照)
- ③ 主 催 萩市消防本部
- ④ 内 容 幼年消防クラブ(椿保育園児)が防火パレードを行い、火災予防を呼びかける。
- ⑤ 参加機関 萩市椿保育園、萩市消防団椿分団、萩市消防本部

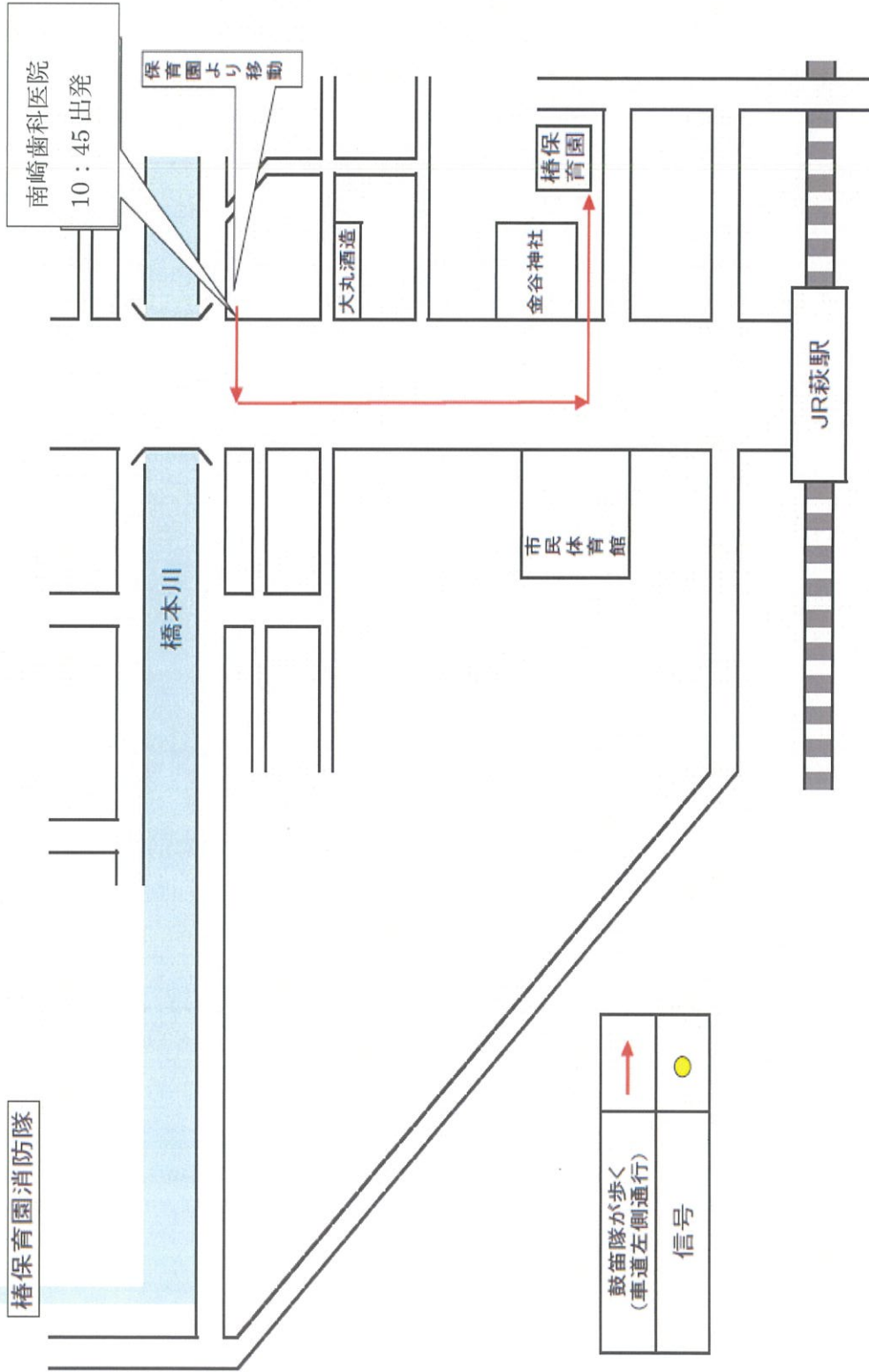


令和元年(コロナ前)のパレードの様子 ※昨年(令和4年)は、降雨のため中止

### ○ その他の行事

#### 萩ふるさとまつり消防ブース ～家族で消防を体験しよう～

- 日 時 令和5年11月11日(土) 午後2時～午後5時  
場 所 萩市役所前駐車場  
内 容 はしご車搭乗体験、住宅用火災警報器おりがみ、火災予防ぬりえ、消火器体験  
心肺蘇生(AED)体験、消防団入団促進コーナー、住宅用火災警報器コーナー等



## 記者発表（配付）資料

令和5年11月1日

所属部課	局長	局次長	担当	連絡先
萩市議会事務局	須郷 誠	村本 行繁	横山晋太郎	0838-25-3144

件名	萩市議会12月定例会会期日程について
----	--------------------

このことについて、本日開催された議会運営委員会において、萩市議会12月定例会の会期日程が確認されましたので、別紙のとおりお知らせします。

# 記者発表（配付）資料

令和5年11月1日

所管部課	萩陶芸家協会事務局（商工振興課内）			
	課長	課長補佐	担当	連絡先
萩市商工観光部 商工振興課	山本 一也	小谷 勝則	神崎 紘充	0838-25-3108

件名	～ふるさとの伝統工芸品「萩焼」に触れる～ <b>椿西小学校での萩焼体験教室の実施について</b>
----	---

萩陶芸家協会では毎年、陶芸家の会員を講師とし、市内の小・中・高校へ派遣して、児童・生徒たちに萩焼の特徴や技法を指導する「萩焼体験教室」を開催しています。今年度は下記のとおり実施しますので、お知らせします。

## 記

■とき 11月9日（木）午前9時30分～午前11時

■ところ 萩市立椿西小学校

（萩市大字椿 3332 番地 1 校長：石田 恭二 電話 0838-25-2686）

■児童数 30人（4年生）

■講師 おかだ やすし  
岡田 泰（岡田窯 椿東）

しごや えいち おだいばがま  
渋谷 英一（御台場窯 明木）

■内容 萩焼の由来や特徴、使い方について学んだ後、児童がてびねりで萩焼を制作するとともに、作家といっしょに電動ロクロでの制作を体験します。

■主催 萩陶芸家協会（会長 田中文夫）

※取材をご希望の場合は、11月8日（水）午前中までに、萩市商工振興課 担当：神崎（0838-25-3108）までご連絡ください。なお、当日の様子は写真撮影しますので、画像等ご希望の場合は事務局までご連絡ください。



本年度の体験教室の様子（7.14 佐々並小学校）

## 萩まちじゅう博覧会プログラム 「地球目線で歩く萩城跡の裏道散歩」に参加しませんか？

萩全体を屋根のない博物館と見立てる「萩まちじゅう博物館」。萩を訪れる方自身が地域の魅力的な場所や古民家を巡り歩き、萩の随所にちりばめられた“おたから”に出会い、五感で味わい、まちじゅう博物館を体感するプログラムが11月17日（金）から26日（日）の10日間に開催される「萩まちじゅう博覧会」。萩ジオツーリズム協会が昨年度萩市ジオパーク活動補助金を活用して作ったプログラムを実施します。萩城跡の散策のあと、自分でお抹茶を点ていただきます。ゆったりとした時間を過ごしてみませんか。



### 「地球目線で歩く萩城跡の裏道散歩」

日時：11月25日（土）10時30分～12時  
集合場所：萩市指月第一駐車場  
募集人員：10人以上15人まで  
参加費：高校生以上1,500円、中学生以下1,000円  
申込：3日前までに萩ジオパーク推進協議会へ  
電話（0838-21-7765）



※「萩まちじゅう博覧会」については公式HP  
（<https://hagi-machihaku.com/html/>）をご覧ください。  
全部で44のプログラムが紹介されています。

## 萩博物館特別展「長門峡 渓谷の美景」関連イベント 名勝指定100周年記念講演会「長門峡の自然と歴史」



専門分野が異なる4名の講師による講演で、大正12年（1923年）に国指定の名勝となってから100周年を迎えた「長門峡」を、地質学や歴史学の観点から深掘りします。

【講演者】金折裕司（元山口大学）  
河村康夫（徳山地方郷土史研究会会員）  
白井孝明（萩ジオパーク推進協議会専門員）  
平岡 崇（萩博物館学芸員）  
【日 時】2023年11月3日（金・祝）13時～15時30分  
【会 場】萩博物館 講座室  
【定 員】80名（予約不要） 【参加費】無料  
【問い合わせ】萩博物館 TEL:0838-25-6447

## 11月の予定

- geoとも（萩ジオ友の会） 11月18日（土） 内容：紫福から吉部へ～いろいろな秋を見つけよう～ 主催・問い合わせ：geoとも 桂（0838-21-7173）、中西（080-8747-9383）
- むつみふるさとまつり 11月3日（金・祝） 場所：B&G海洋センター 内容：むつみ地域で開催される、むつみふるさとまつりに萩ジオパーク推進協議会が出展 主催・問い合わせ：むつみ総合事務所
- かわかみふるさとまつり 11月5日（日）9:30～14:45 内容：川上地域で開催される、かわかみふるさとまつりに萩ジオパーク推進協議会が出展 主催・問い合わせ：川上総合事務所
- 秋のささなみまちじゅうまつり 11月19日（日） 場所：旭活性化センター 内容：佐々並地区で開催される、秋のささなみまちじゅうまつりに萩ジオパーク推進協議会が出展 主催・問い合わせ：佐々並支所
- 田万川地域生涯学習フェスティバル 11月26日（日） 場所：江崎公民館 内容：田万川地域で開催される、田万川地域生涯学習フェスティバルに萩ジオパーク推進協議会が出展 主催・問い合わせ：江崎公民館
- 萩ジオツーリズム協会「地球目線で歩く萩城跡の裏道散歩」 11月25日（土）10:30～12:00 内容：上記を参照 主催：萩まちじゅう博覧会事務局 問い合わせ：萩ジオパーク推進協議会（0838-21-7765）

# 萩ジオパーク 推進協議会だより vol.104

萩ジオパーク推進協議会

| 2023年10月31日発行 |



〒758-0041

山口県萩市大字江向602 萩・明倫学舎本館2階

☎ 0838-21-7765 ☎ 0838-25-7767

✉ geo@city.hagi.lg.jp

🌐 <https://hagi-geopark.jp>

📘 <https://www.facebook.com/HagiGeoProject>

## 日本ジオパークネットワーク表彰 2023年度『グッドプラクティス』に 萩ジオパークが選ばれました！！



Congratulations!



認定特定非営利活動法人日本ジオパークネットワークは、各地域の優れた活動『グッドプラクティス』を、他のジオパーク地域に広く共有させるため2021年度から表彰しています。2023年度のグッドプラクティスに萩ジオパーク推進協議会が選ばれ、10月28日（土）千葉県銚子市で開催された第13回日本ジオパーク全国大会in関東の開会式において、日本ジオパークネットワーク古川理事長（長崎県島原市長）より田中会長に表彰状が授与されました。多種多様な講座を軸に、理念を共有する個人・団体が増え、その方々による主体的な活動が行われている点が評価されたものです。今後もより多くの方々が活動に参加し、訪れた方が新たな萩の魅力を体験できるよう取り組んでまいります。

## 地域イベントに出店しました

(10/1) 弥富そばの花まつり (10/21) ハロウィンたまち&結まつり

これまで萩ジオパーク推進協議会では住民の皆様に向けて、第一線で活躍しておられる研究者から萩の大地のことについて学ぶ「萩ジオアカデミー」、食を切り口に“大地と人のつながり”に触れ、大地と向き合うことの大切さを学ぶ体験型の食育講座「地球を食べる食堂」、野外での遊びを通して、大地と人の“つながり”を実感する力を養う体験型講座「大地の遊び人養成講座」を実施してきました。今年度は地域のイベントにブース出店して、大地と食のつながりを体感していただく「飲み比べカフェ」や開催地の大地の成り立ちを実験で学ぶ「大地の実験教室」を行っています。

10月1日に弥富小学校グラウンドで開催された「手作りそばの花まつり」では、弥富の水と市販の硬水を用いた出汁を飲み比べました。出汁の原料を現地の蕎麦屋さんで使っている「エン」と昆布を用いました。飲まれた方は味の違いにびっくり。大地の実験教室は、地形模型の伊良尾山から溶岩を噴出させると、谷あいを下り、「龍が通った道」ができました。水はけのよい溶岩台地は蕎麦を育てるのに適しており、この地の水道水は溶岩台地を通り抜けた湧水です。この地においておいしい蕎麦屋がある理由が体験を通して伝わったことでしょう。



龍の通った道ができました

10月21日「ハロウィンたまち&結まつり」では紅茶と緑茶の飲み比べを実施しました。色の違いが明らかで、水道水で入れたお茶は明るく透き通った色、市販の硬水では暗く濁った色になり、おりのようなものも出てきました。イギリスでは私たちが「紅茶」とよぶものについて「black tea」と呼んでいます。硬水と軟水のどちらがいいわけではなく、大地の違いで水の硬さが異なり、大地に合った食文化が生まれていることに納得しておられました。

これから11月3日・むつみふるさとまつり、11月5日・かわかみふるさとまつり、11月19日・秋のささなみまちじゅうまつり、11月26日・田万川生涯学習フェスティバルと、各地域におじゃまいたします。多くの皆様のご来場をお待ちいたしております。

## 「科学の祭典」に参加



スタッフ集合写真



ブースの様相

10/8、萩市立明倫小学校体育館で開催された「青少年のための科学の祭典 第20回萩大会」に参加しました。このイベントは萩市教育委員会に実行委員会事務局が置かれ、萩市・阿武町の小中学校の先生方や市内外の企業がボランティアで子どもたちに科学・ものづくりの面白さを伝えます。また、先生の卵・山口大学教育学部1年生もブース出店し、運営を手伝います。コロナ明け4年ぶりの開催ですが、萩大会は今回をもって一旦終了となりました。今回、萩ジオパーク推進協議会では、2つの工作プログラム「水玉マグマボトル」と「しましま地層ボトル」を準備し、萩ジオツーリズム協会のガイドさん、山口大学の学生さんにもお手伝いしていただきながら、子どもたちに選んでやってもらいました。小さなボトルで地球のダイナミックな動きをちょっとでも感じてもらえたことをうれしく思います。

## 今月も学校でジオパーク！

### 10/3 萩市立大井小中学校6年生

大井地区は小さな火山（阿武火山群）に囲まれていて、暮らしと火山の関係が深い地域です。噴火実験もまじえながら、自分たちと大地の関わりを考えてもらいました。

彼らに向けて出前授業するのは3回目（①水と大地の関係②石灰岩の大地の成り立ち（付加体）③火山の成り立ち）。到着するなり、これまでの授業を受けて自分たちでも実験してみた、という動画や写真を見せてくれました。「軟水と硬水で、せっけんの泡立ちも違うみたいよ」と授業の中で少しだけ話を実践してみたそうです。子どもたちも先生も面白がって、次はこうしようかと楽しそうに話し合っている姿が見られて、通った甲斐があったなあとても嬉しい出来事でした。



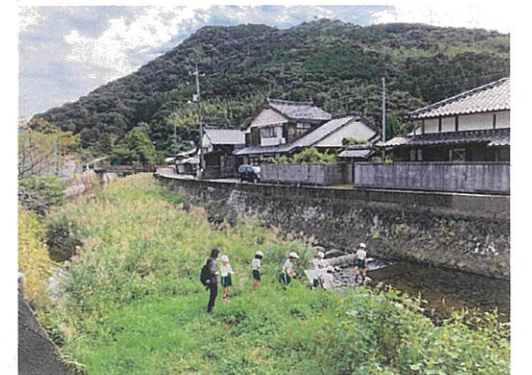
### 10/6 萩市立白水小学校2年生

生活科で町たんけんをする前にジオパーク的な視点を取り入れたいと、担任の先生からご依頼をいただきました。

町で働く方々に会う前に、その人たちがどんなところで暮らしているのかを知るために「川をたどって歩いてみよう」という内容の2時間です。

生きもの大好きな元気印の子たちで、前半から川の中にザブザブ入るわんぱく具合。専門員も急遽裸足になって一緒に遊び...お勉強しました。

水からあがって川沿いを歩いていくと、川の流れる速さや川幅、深さが変わり、見つかる生き物もだんだん変わっていきます。人も一緒に、山には山の暮らし、海には海の暮らしがあります。これからの学習で、仕事の“まわりの景色”も思い出してほしいな、と思っています。



### 10/6、13 萩市立明倫小学校

10/13には萩市立明倫小学校6年生約120人と須佐ホルンフェルスに出かけました。

この人数で降りるのは、私たちにとって初めての経験。スタッフ4人で先生方と連携しながらご案内しました。

この規模になるといつものように現場でじっくり解説をするのは難しいですが、10/6に学校で事前学習会をしたので、みんな観察ポイントをわかっているようでした。黒い層と白い層を触って違いを確かめたり、足元の化石を探したり。そのうち、波打ち際や潮だまりの生き物を観察したり、海水が干上がってできた塩をなめてみたり、各々の興味に合わせて充実した時間を過ごせたようでした。やっぱり現地で自分の五感を使って活動するって大切ですね。これだけの大人数でしたが、大きなトラブルやけが人もなく、無事に終わることができました。



## 萩市食生活改善推進協議会支部研修会（萩、川上、旭）



食生活推進委員の皆さんを対象にした研修会を先月に続き萩市内各地で開催しました。硬水と軟水の出汁の飲みくらべや、火山実験などを織り交ぜ、体験的に学んでいただきました。各地域の大地の特徴と人々の暮らしや特産品との関係を楽しみながら感じていただけたことと思います。